

## 2つの災害公営住宅で交流を図る 住民のコミュニティづくり

市内すべての災害公営住宅が完成し、半年が経ちました。現在、高齢世帯、単身世帯などへの見守り活動のほか、入居した人たちのコミュニティづくりが大きなテーマとなっています。

錦町地区・錦町東地区災害公営住宅では、入居者同士の交流を図るため、サロン活動として7月は絵手紙教室が行われ、それぞれの地区の入居者が集まりました。

### ■サロン活動は、きっかけづくり

絵手紙教室の講師を務めたのは、錦町東地区災害公営住宅の入居者の柴田教行(おさむ)さんと、登子(たかこ)さんです。

「サロン活動が終わった後、同じ棟の方と話はずみ、楽しい時間を過ごすことができました。顔だけでもわかるようになり、良かったです。

新たなコミュニケーションのきっかけづくりとして、サロン活動はこれからも必要だと思います。参加する人が一人でも多くなるといいですね。」と話されました。



「筆を持ったのは何十年ぶりだろう」と、話はずみです

その人自身の、色合いあふれる絵手紙になりました



☎ 問 ふれあいサポートセンター ☎ 781-6203

## 浦戸諸島の復興へ向けて

### ■漁業集落防災機能強化事業を進めています

集落道・避難路の整備と土地のかさ上げ工事、ポンプ場施設の建設などを行っています。各整備は防潮堤や漁港施設の災害復旧工事と調整を行いながら進めており、集落道・避難路は平成31年度内の全線完成を目標として整備しています。



寒風沢地区雨水ポンプ場  
(8月時点)

桂島地区集落道整備箇所



### ■桂島地区集落道の舗装工事が始まります

桂島地区の集落道は、側溝の整備が完了し、道路舗装工事が始まります。ほかの地区の集落道や避難路も、順次整備を進めます。

### ■寒風沢地区雨水ポンプ場は9月末完成予定

震災により生じた地盤沈下で、冠水被害が増加していた寒風沢地区に、雨水ポンプ場を建設しています。現在、工事の最終段階に入っており、試運転などの調整を経て、9月末に完成する予定です。

☎ 問 復興推進課産業基盤復興係 ☎ 355-6598

### ■地域おこし協力隊が活動しています

「地域おこし協力隊」とは、都市から人口減少や少子高齢化が著しい地方へ移住し、その定住・定着を図りながら、地域力を維持・強化することを目的とする取り組みです。現在、2人の協力隊が桂島でノリ養殖の活動をしています。

#### 松田 健一さん

(大阪府豊中市から移住)



桂島に来るまで一人暮らしをしたことがなく、最初は不安でした。しかし、地域の皆さんにあたたかく迎えられ、とても楽しく活動しています。これから忙しい時期を迎えます。地域おこし協力隊として、少しでも貢献できるように頑張ります。

#### 木村 達也さん

(富谷市から移住)



何もかもがわからないことだらけです。まずは、どのようにしてノリが作られていくのかなどを理解し、真面目に取り組んでいきたいと思っています。また、体を壊さないよう体力をつけていきたいと思っています。

☎ 問 政策課企画係 ☎ 355-5631